



4月18日(木)

発行所  
荘内日報社

本社/〒997-0035  
鶴岡市馬場町8-29  
電話0235(22)1480(代表)  
酒田支社/〒998-0045  
酒田市二番町6-2  
電話0234(22)4244(代表)  
©荘内日報社 2024

本社代表  
TEL(0235)22-1480

購読のお申し込み  
TEL(0235)22-1481

広告のお申し込み  
TEL(0235)22-1479  
FAX(0235)22-2633

印刷のお申し込み  
TEL(0235)22-1724

編集のお問い合わせ  
TEL(0235)22-1482  
FAX(0235)22-1427

ホームページ  
<http://www.shonai-nippo.co.jp/>

産婦人科・小児科  
**三井病院**  
0235(22)3290

# 鶴ヶ岡城の歴史伝える

## 大手門前「馬出跡」から出土した石

### 鶴岡公園遺構再現 展示公開始まる



テープカットを行い、城の歴史を伝える「鶴ヶ岡城の馬出跡」の公開が始まった

鶴岡市の鶴岡公園で16日、旧庄内藩主酒井家の居城「鶴ヶ岡城」の大手門前にあった「馬出」遺構から出土した石の展示公開が始まった。発掘調査で検出した際と同じ配列で石を置いて遺構の様子を再現し、城址の鶴岡公園を訪れる市民や観光客に、鶴ヶ岡城の歴史を伝える。

馬出は城の出入り口をふさぐように設けられた攻守両面の機能を備えた施設。鶴ヶ岡城の古絵図には土塁や石垣、堀が描かれており、1622年の酒井家人部後、二の丸大手門前に、大手門築造後の1650年代頃に造られたとみられる。鶴岡公園と市役所間の県道拡幅工事現場で2021年12月、馬出の石積みに使ったとみられる石が出土し、絵図でしか分からなかった馬出の姿の一部が明らかになった。鶴ヶ岡城は戊辰戦争後の1876(明治9)年、解体された。

石は同市の金峯山で採掘された花こう岩類の「金峯石」を含め約30個出土。城の歴史を感じてもらおうと、市が遺構近くの公園内のバス優先駐車場南隣に展示スペース(約90平方メートル)を整備した。出土した状況を再現したほか、馬出の形状をイメージして石を配列し腰掛けることのできる休憩スペース、山から切り出す際などに割ったり加工した工具の型が残り石もあり、「鶴ヶ岡城の馬出跡」の説明板も設置した。石は大きなもので縦52センチ、横95センチ、奥行き65センチ。

この日は公開に先立ちセレモニーが行われ、市の布川敦教育長が「多くの市民や観光客から城下町の歴史を身近に感じてもらいたい」と、市文化財保護審議会の植松芳平会長が金峯山中腹から切り出した石を今の青龍寺川を使って舟で運ん

だ歴史を紹介し、「先人たちが残したものを未来につなげるのが私たちの役目」  
とあいさつし、観光関係者も加わりテープカットした。

荘内日報 2024年4月18日付記事より  
2024年4月16日に行われた鶴岡公園の遺構「鶴ヶ岡城馬出」の展示開始セレモニーが行われた。セレモニーでは鶴岡市教育長の布川氏や市文化財保護審議会長の植松氏らと共に鶴岡公園環境整備懇談会会長で日本山岳会山形支部顧問の野堀嘉裕氏がテープカットを行った。写真左から2名目。